

[証券コード6155]

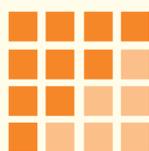
株主の皆さまへ

**TAKAMAZ**

**第45期中間事業報告書**

平成17年4月1日から平成17年9月30日

**高松機械工業株式会社**



## 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご支援、ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、当社は平成17年9月30日をもちまして第45期上半期  
(平成17年4月1日から平成17年9月30日)を終了いたしましたので、ここに営業の概況ならびに中間決算の状況についてご報告申し上げます。

### 営業の概況

#### 当上半期の市場動向および成果

当上半期のわが国経済は、昨年から続いてきたIT関連分野の在庫調整や原油をはじめとした原材料の高騰から踊り場的な状況でありましたが、期中には踊り場的状況から脱却し、景気回復の動きが強まってきました。

工作機械業界では、受注が高い水準で続いており、前年同月を36ヶ月連続で上回るなど、依然として力強い状態があります。その結果、当上半期における業界受注高は6,775億円に達し、前年同期よりも7.6%増加しました。

このような状況の中、当社でも多くの受注残を抱えていることから、人員の増加、外注政策の推進などをもって、生産量の増加をはかってきました。また、営業活動におきましても、ユーザーニーズに応える提案型営業を積極的に推進してきたほか、ロシアへの販路拡大、チェコおよびメキシコにおけるサービス・メンテナンス拠点設置に向けた活動を行ってきました。

IT関連製造装置事業および自動車部品加工事業におきましても、今後の売上高増加に向けての営業活動を積極的に展開してきました。

当上半期における当社の工作機械受注高は、現在の納期が10ヶ月超という状況の中でも59億20百万円(前年同期比16.2%減)となり、上半期末受注残高は90億54百万円(前期末比0.9%増)と、前期末と同水準で推移しました。売上高におきましては、前述のような生産量増加政策の結果により、69億21百万円(前年同期比19.3%増)、うち内需49億11百万円(同24.0%増)、外需20億9百万円(同9.2%増)、外需比率29.0%となりました。また、営業利益は6億56百万円(同41.1%増)、経常利益は6億68百万円(同38.9%増)、経常利益率は9.7%となりました。

## 今後の見通し

日本経済の先行きにつきましては、国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見込まれておりますが、原油価格の動向が内外経済に与える影響等には留意を要する状況であります。一方、工作機械業界では、受注高が1～9月の累計ですでに1兆円を超えており、日本工作機械工業会は2005年暦年の受注予測を1兆1,500億円から1兆3,000億円に上方修正しております。大きな影響を受ける自動車業界での設備投資がまだ続く見通しであることから、この好況は続くと思われ見込まれます。

このような状況下、当社としましては、より多くの生産量の確保をはかります。現在本社工場の増設工事中であり、平成18年1月の完成後速やかに稼働する予定であります。また、タイの子会社にて新工場を稼働させます。ここでは、ユーザ毎の自動化装置などを付加し、製品の最終仕上げを行う予定であり、これによって本社工場で行う製造工数の低減がはかれることで、生産量の拡大が見込めます。そのほか、市場では旺盛な需要がありますので、納期の短縮を進めるとともに、提案型営業によるユーザニーズ対応をよりきめ細やかに行っていくことで、受注の確保をはかります。

IT関連製造装置事業では、業界の在庫調整が進んできていることから、生産高確保のために積極的な受注活動を推進します。

自動車部品加工事業では、新たに1ラインの自動化設備を計画しており、早期安定稼働により売上高を増加させるとともに、新たな加工部品の受注に向けた活動を展開します。

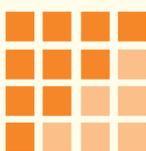
今後も業績を増大させて利益を確保し、更なる企業体質の強化をはかって、企業価値向上を志向してまいりますので、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成17年12月



代表取締役社長

高松喜与志



## トピックス

### 生産能力の拡大

工作機械に対する需要が高く、多くの注文を受けている状態に対応するために、現在、本社工場の増設中であります。稼働開始予定は平成18年1月であり、現本社工場よりも約4,200㎡（約30%）広くなります。ここでは、製品組付けを行うほか、中国関連会社に提供するユニット部分の製造も行います。また、より生産能力を増強するために、新規機械設備を導入します。



国内だけでなく、タイの子会社におきましても新工場（約400㎡）を稼働予定であります。こちらでは、国内から出荷した標準機に対して、ユーザオプションを付属する作業を行います。

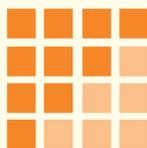
タイの新工場が稼働すれば、本社工場の負担が軽減され、全社でバランスの取れた生産体制が確立できるようになります。

### 個人向け会社説明会の開催

より多くの方に当社を知っていただくイベントとしまして、7月および8月に個人向け会社説明会を開催しました。今回は地元金沢で開催しましたが、あわせて300名ほどの方々に出席していただき、会社概要や社長インタビューを聞いていただきました。出席された皆さまには、当社に対する理解を深めていただけたと思っております。



このようなIR活動を行うことは、上場企業として重要な役割であると認識しておりますので、今後も積極的な活動を行っていきたく思っております。



# アンケートのご報告

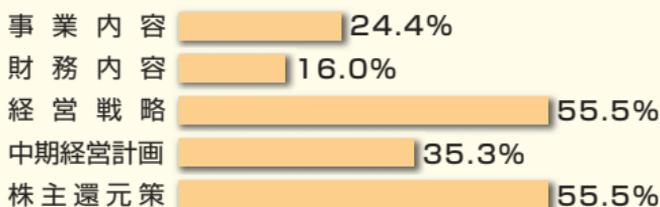
## アンケートにご協力いただきありがとうございました。

第44期事業報告書に同封いたしましたアンケートにご返送いただきましたので、その一部ではありますが、結果報告をさせていただきます。

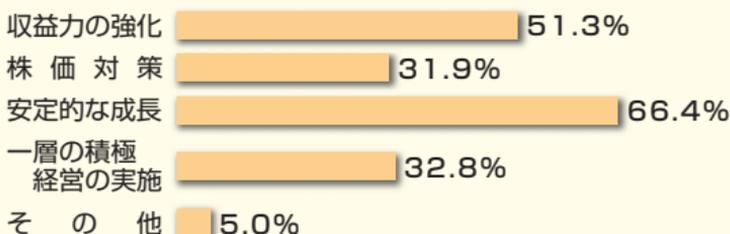
平成17年3月31日現在の株主様652名のうち120名の株主様よりご回答いただきました(回収率18.4%)。

ご多忙の中、貴重なご意見を多数いただき、厚く御礼申し上げます。ささやかではありますがアンケートの謝礼といたしまして、今回は図書券(500円分)を送らせていただきました。

### ●当社について知りたい情報は何でしょうか?(複数回答可)



### ●今後、当社の経営に対して何を望みますか?(複数回答可)



## アンケートにご記入いただきました当社に対するご意見等につきまして、いくつかご紹介させていただきます。

### ●ご意見

収益が伸びれば株価はあとからついてくると思う。安定な成長を望む。

#### お答え

安定的な成長をはかることは、当社の戦略であります。一步一步足場固めを行いながら成長していくとともに、時流に則った攻めの姿勢もとっていきたいと思っております。

### ●ご意見

増配等、さらなる株主への還元を期待します。御社の発展を期待しております。

#### お答え

株主の皆様に対する利益還元は経営の重要課題であると認識しております。今期は前期よりも利益の拡大が見込めますので、従来よりも2円50銭増配した1株当たり10円の配当を行う予定であります。

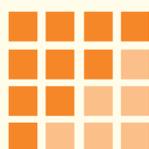
### ●ご意見

ますますの発展を願っています。がんばって下さい。

#### お答え

ありがとうございます。発展に向けた企業努力は怠らず、続けていきます。

このほかにも多くのご意見をいただき、真摯に受け止めております。今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



# 貸借対照表

## 中間貸借対照表 (平成17年9月30日現在)

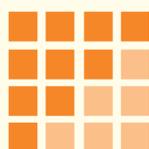
(単位：千円)

科目	当中間期 (平成17年9月30日)	前中間期 (平成16年9月30日)	前期 (平成17年3月31日)
<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>	<b>8,922,990</b>	<b>7,416,056</b>	<b>8,396,319</b>
現金及び預金	1,431,693	1,585,521	1,474,982
受取手形	1,787,395	1,285,316	1,933,394
売掛金	3,631,263	2,705,220	3,229,686
たな卸資産	1,754,753	1,586,100	1,487,482
関係会社短期貸付金	49,000	24,000	52,000
繰延税金資産	197,043	167,504	183,480
その他	72,386	62,794	35,813
貸倒引当金	△ 546	△ 401	△ 521
<b>固定資産</b>	<b>3,925,769</b>	<b>3,559,742</b>	<b>3,713,019</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>(3,256,492)</b>	<b>(2,969,051)</b>	<b>(3,117,373)</b>
建物	776,262	626,312	802,981
機械及び装置	588,461	604,280	584,303
土地	1,522,699	1,522,699	1,522,699
その他	369,069	215,759	207,388
<b>無形固定資産</b>	<b>(2,019)</b>	<b>(2,019)</b>	<b>(2,019)</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>(667,257)</b>	<b>(588,671)</b>	<b>(593,626)</b>
投資有価証券	305,525	242,391	280,989
関係会社株式	154,214	94,293	111,738
関係会社長期貸付金	-	40,000	-
繰延税金資産	84,456	97,753	80,144
その他	167,433	164,657	168,178
貸倒引当金	△ 44,373	△ 50,425	△ 47,425
<b>資産合計</b>	<b>12,848,760</b>	<b>10,975,799</b>	<b>12,109,338</b>

(単位：千円)

科 目	当中間期 (平成17年9月30日)	前中間期 (平成16年9月30日)	前 期 (平成17年3月31日)
(負債の部)			
流動負債	6,588,336	5,460,963	6,164,517
支 払 手 形	3,122,058	2,469,297	2,898,795
買 掛 金	1,200,735	1,024,256	1,056,291
短期借入金	1,230,000	1,230,000	1,230,000
1年以内返済予定の長期借入金	150,330	105,600	175,000
未払法人税等	315,355	203,554	328,143
賞与引当金	168,194	147,382	135,250
そ の 他	401,663	280,872	341,037
固定負債	612,464	589,189	654,691
長期借入金	77,900	83,730	139,330
退職給付引当金	380,843	332,025	354,120
役員退職慰労引当金	141,770	126,128	131,568
そ の 他	11,950	47,306	29,672
負債合計	7,200,800	6,050,153	6,819,209
(資本の部)			
資本金	1,247,395	1,247,395	1,247,395
資本剰余金	1,196,809	1,190,355	1,190,355
資本準備金	1,190,355	1,190,355	1,190,355
自己株式処分差益	6,454	-	-
利益剰余金	3,247,632	2,609,280	2,951,842
利益準備金	95,608	95,608	95,608
任意積立金	2,630,989	2,151,131	2,151,131
中間(当期)未処分利益	521,034	362,540	705,101
その他有価証券評価差額金	86,860	51,395	73,316
自己株式	△ 130,737	△ 172,779	△ 172,779
資本合計	5,647,959	4,925,646	5,290,128
負債資本合計	12,848,760	10,975,799	12,109,338

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



# 損益計算書／業績の推移

## 中間損益計算書 (平成17年4月1日～平成17年9月30日)

(単位：千円)

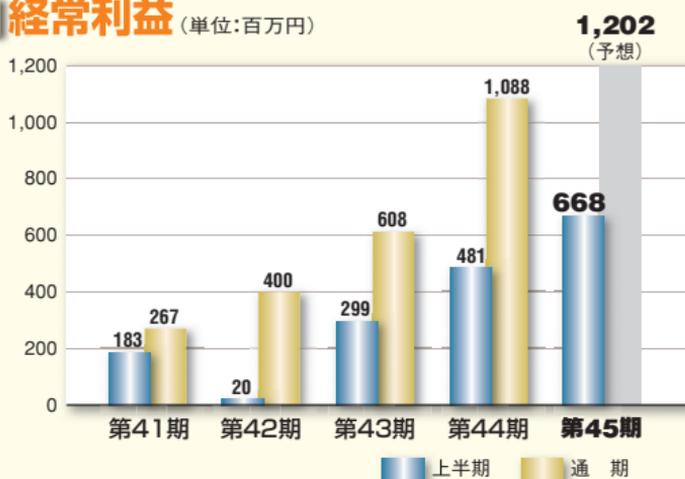
科目	当中間期	前中間期	前期
	自平成17年4月1日 至平成17年9月30日	自平成16年4月1日 至平成16年9月30日	自平成16年4月1日 至平成17年3月31日
売上高	6,921,824	5,801,975	12,583,417
売上原価	5,314,576	4,413,304	9,620,379
売上総利益	1,607,247	1,388,670	2,963,037
販売費及び一般管理費	950,641	923,414	1,878,376
営業利益	656,606	465,256	1,084,660
営業外収益	26,059	28,338	46,670
営業外費用	14,088	12,339	42,390
経常利益	668,578	481,255	1,088,941
特別利益	3,431	15,904	19,160
特別損失	522	83,976	84,952
税引前中間(当期)純利益	671,487	413,182	1,023,149
法人税、住民税及び事業税	306,388	196,553	477,202
法人税等調整額	△ 27,066	△ 23,759	△ 37,004
中間(当期)純利益	392,165	240,388	582,950
前期繰越利益	128,869	122,151	122,151
中間(当期)未処分利益	521,034	362,540	705,101

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 売上高 (単位:百万円)

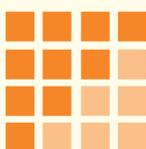


## 経常利益 (単位:百万円)



## 当期純利益 (単位:百万円)





# 会社の概況 (平成17年9月30日現在)

## 会社概要

商号	高松機械工業株式会社
設立	昭和36年7月
資本金	12億4,739万円
本社	石川県白山市旭丘1丁目8番地
従業員数	318名
子会社および関連会社	株式会社ファースト・マシン・ファイナンス TAKAMATSU MACHINERY U.S.A., INC. TAKAMATSU MACHINERY (THAILAND) CO., LTD. 株式会社タカマツエマグ 杭州友嘉高松機械有限公司
ホームページアドレス	<a href="http://www.takamaz.co.jp">http://www.takamaz.co.jp</a>

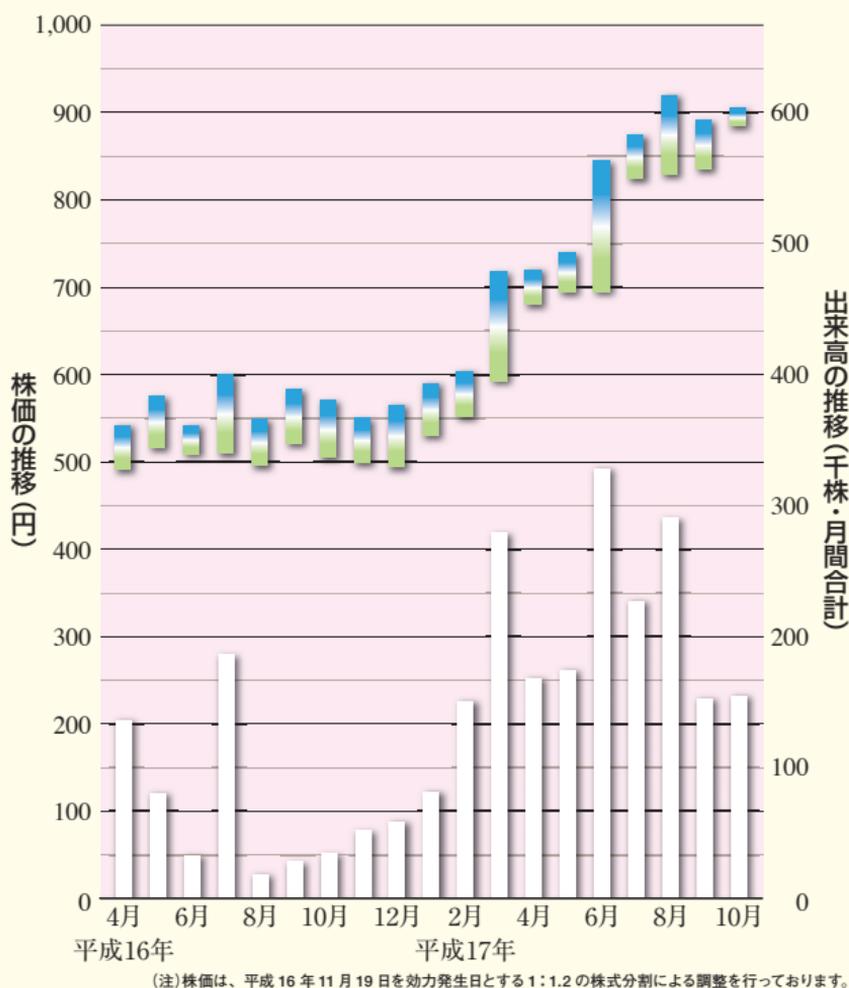
## 株式の状況

①会社が発行する株式の総数	18,000,000 株
②発行済株式総数	10,200,000 株
③1単元の株式数	100 株
④株主数	899 名

## 役員

代表取締役社長	高松喜与志
常務取締役 (生産本部担当)	前田充夫
常務取締役 (営業本部担当)	中西与平
取締役 (産機事業部長)	池上佳信
取締役 (営業本部国内営業部長)	川上友安
取締役 (管理部長)	溝口清
取締役 (品質保証部長)	水上喜義
取締役 (生産本部副本部長兼製造部長)	宮川隆
常勤監査役	砂崎友和
監査役	田井正樹
監査役	谷口郁朗

## 株価インフォメーション



## ネットワークとサービス体制



## 株主メモ

- 決算期日 3月31日
- 定時株主総会 6月中
- 株主確定基準日 (1) 定時株主総会 3月31日  
(2) 利益配当金 3月31日  
(3) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日
- 名義書換代理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社証券代行部
- (郵便物送付先)  
(電話照会先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社証券代行部
- ☎0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求)  
自動音声認識装置による24時間対応
- ☎0120-176-417 (その他のご照会)
- 同取次所 住友信託銀行株式会社全国各支店
- 公告掲載新聞 当社ホームページにて電子公告の方法により行います。  
<http://www.takamaz.co.jp>
- お問い合わせ先 管理部 TEL 076-274-1411〈直通〉  
FAX 076-274-1418

## ホームページについて <http://www.takamaz.co.jp>

より多くの皆様当社をご理解いただくために、会社概要をはじめ、決算情報等をホームページにおきまして掲載しております。



**TAKAMAZ**  
高松機械工業株式会社



高松R100印刷率100%再生紙を使用

Printed with 100% Soybean Ink